

## 新宮町「課題解決型インターンシップ」参加の 学生立案イベントを実施！

### 「特産のみかん狩り体験をして、宣伝チラシを作ろう！」

「新宮町おもてなし協会」のインターンシップで、学生が企画立案した子ども向けのイベント「みかん狩り&PRポスター製作」イベントが11月26日（土）に開催されました。

本学の「就業力育成プログラム」の一環で、今回学生が「新宮町おもてなし協会」に4週間常駐し、具体的に抱える課題に対し、最終的に企画提案までを行う「課題解決型インターンシップ」を実施しました。

新宮町は急激に人口が増加している一方で、歴史のある相島や楯の松原と呼ばれる新宮海岸や、献上みかん、立花みかんのある立花山や里山文化が残る野地区などは新しい住民にも訪町しているお客様にも知られていないという課題がありました。その課題解決に向けて、今回学生が企画した提案が採用され、新宮町で開催する体験型観光イベント「新宮劇場」の1つとして実施されました。

イベントには小・中学生、合計40名が参加しました。天候にも恵まれ、新宮町にある船越農園でみかん狩りを体験した後、宣伝チラシを描きました。新宮中学校の美術部の生徒も参加して頂き、小学生に絵の描き方を教えながら一緒に楽しんでいました。

イベントを企画・実行した電子情報工学科3年の福地諒祐さんは、「自分が企画したイベントにたくさんの小・中学生が参加して楽しんでもらい嬉しかったです」と達成感を得ていました。本日描いた宣伝チラシは、JA粕屋新宮支店や新宮町役場にて掲示される予定です。



船越農園でみかん狩り



絵のイメージを考える



農園内でスケッチ



事務所に戻ってデザイン



小学生に指導する福地さん



無事イベント終了